



TITLE:

編輯室より (年末研究特集號)

AUTHOR(S):

CITATION:

編輯室より (年末研究特集號). 天界 1943, 23(269): 397-397

ISSUE DATE:

1943-12-28

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168677>

RIGHT:

流星群の出現状況

七月下旬の水瓶座 δ 流星群 (δ -Aquarids in last decade, July) 豫定の観測計畫に基いて、近畿及關東兩班を中心として観測された。これ等の結果から見れば、七月28日頃から八月1日頃までは、平均した様な出現数を示し、一時間7~8個の出現を見た様である。極大は明瞭ではないが、29日又は30日の曉にあつたものの様である。Kw は29日、同群に屬する-2等のものを、Sr は31日に-3等のもの各一個を見てゐる。Average during July 28~Aug. 1 was 7~8/hour max. apparently July 29 or 30 (morning)

八月1日の朝の観測に於て Ko 及 Sr は南魚 α 流星群の活動を確認した。Swarm from α PsA was confirmed on Aug. 1. 輻射點は Ko によれば $\alpha=342^\circ$, $\delta=-29.5^\circ$ (見かけのまゝの位置で) であつた。

猶、水瓶 δ 流星群の活動期に當り、ペルセウス流星群の前驅の外、魚 ϕ 群、龍 ϕ 群、魚41群、ペガソス ϕ 群等の活動するのが観測された。詳しくは輻射點表(追て發表す)を参照されたい。Beside δ Aquarids, displays of Perseid forerunners, ϕ Piscids, ϕ Draconids, 41 Piscids, ϕ Pegasids, etc., were observed.

八月のペルセウス座流星群

七月末よりすでに前驅は観測され、八月に入り次第に其の數を増した。しかし、八月10日朝の Ko の観測では一時間10個程度のもので、例年より少いかに思はれたが、13日朝の観測は、さすがに極大を示し、一時間45個(修正値56個)を數ふことが出來た。On Aug. 10, Ko observed (ca. 10/hour), rather few but on Aug. 13 Ca. 45/hour (56, corrected) were observed as max.

水瓶群とともに、同時観測の計畫を立て、同一流星獲得を期待したが、充分効果をあげることが出來なかつた。Sr はこの期間に、ペルセウス流星群の外、同座 ζ 星附近に一流星群の活動するを見てゐる。Simultaneous observations were not fruitful. Sr observed a swarm from ζ Persei. (1943-10-31).

編輯室より

年末に當り、研究的な寄稿を滿載して、全部で70ページの特輯號を會員諸氏に提供します。別頁に記載の如く、“年鑑”は“年表”と改められ、獨立の單行冊子となりますので、一月號は平常通りのものとして、井本、渡邊、山本、松本諸氏の雄編を載せる豫定です。(1943-12-20)